

1. 件 名 : 「リサイクル燃料貯蔵株式会社による使用済燃料貯蔵施設の設計及び工事の計画の変更認可申請に係るヒアリング (1)」

2. 日 時 : 令和5年3月29日 (月) 15時00分~16時00分

3. 場 所 : 原子力規制庁 10階会議室 (TV 会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

松本企画調査官、田中管理官補佐、羽場崎安全審査官、尾崎安全審査官、田口技術参与

リサイクル燃料貯蔵株式会社

赤坂常務取締役 他10名

5. 自動文字起こし結果 : 別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こしによるものであり、誤りを含む場合があります。

6. 提出資料

資料1 リサイクル燃料備蓄センター【参考資料】入力地震動の加速度応答スペクトル、設計用床応答曲線の比較について

参考

※ 令和5年3月28日「リサイクル燃料貯蔵株式会社による使用済燃料貯蔵施設の設計及び工事の計画の変更認可申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:03	携帯のタナカで、3月29日、RFS設工認に係る
0:00:11	ヒアリングを開催いたします。
0:00:13	本日ヒアリングにつきましては昨日3月22日に申請がありました設工認に対してお持ちしております審査会合に係る資料の確認ということで、
0:00:25	すでに昨日提出していただいている資料とあと本日ご提出いただいた資料について、
0:00:36	ヒアリングを行いたいと思います。
0:00:41	ヒアリングの進め方についてですけれども、当資料全部説明している若生の、
0:00:48	時間がよくないと思いますので、
0:00:55	持つ
0:01:01	それから、
0:01:05	規制庁野崎ですが、今日はとりあえずの依頼しました。
0:01:12	入力地震動等、各設備の固有周期の、
0:01:17	プロットの話と、あと各設備がですね、
0:01:24	弾性範囲におさまってるかどうかというその2点に絞って、まず、
0:01:29	ご説明いただきたいと思います。
0:01:33	が、
0:01:34	よろしいでしょうか。
0:01:41	それでは昨日お送りした、ごめんなさいどうですか。
0:01:49	はい本日お送りした参考資料の方、
0:01:54	簡単にご説明させていただきます。
0:02:00	リサイクル燃料貯蔵の寺山です。それではこちらの参考資料の方でご説明させていただきます。
0:02:09	資料の方の9分の2ページ、PDFでいきますと9分後、1ページになります。
0:02:16	こちらがお話いただきました、設工認の耐震化タケノ耐震に関する計算書の中の記載のグラフで、
0:02:27	入力地震動の加速度応答ステップです。こちらの初動体制の基礎底面位置の加速度応答スペクトルになりますが、こちらに各貯蔵建屋、金属キャスク天井クレーンの一次固有周期の値を、
0:02:43	線で基準追記したものになっております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:47	こちら9分の2ページの方が、水平方法、次のページの方からちょっと方向ということになっております。
0:02:55	それぞれのところに、
0:02:59	こちら、まず2ページの方の、では次方向ということで、こちら①から④のところの縦線の縦の一点鎖線で示しているところが、
0:03:10	各保有周期となっております。
0:03:13	それで、こちらの中で、水色の太線のところが、S s B5ということになっておりまして、今回追加したAの基準地震動S s B5ということになっております。
0:03:25	こういうところで、こちら、水平方向と、鉛直方向の方、まず、こちら、2ページ3ページの方で示しております。
0:03:37	それで引き続き、同じく3ページ、14ページから鉄筋を使うん5についてということで、いたしまして、規制庁野崎ですが、ちょっと今、ご説明いただいた、
0:03:53	8分の18分の2で水色が、
0:03:58	一番飛び出てる番号っていうのはあるんですか。
0:04:04	えーとですねこちらですね、今この状態の中では飛び出てる部分はない。ほぼ同じって並んでるところはあるのですが、認めてるところはございません。
0:04:14	はい、ありがとうございます。
0:04:22	すいません、規制庁、確認なんですけれども、
0:04:26	ここで
0:04:28	こういう周期1Gのものを入れてますけどこれ一次が一番チャンピオン。
0:04:33	友野っていうふうに理解していいですよ。多分あの表見ればわかるんでしょうけれども、
0:04:44	全部ですね、共通のテラヤマで抵抗で、基本的には理事が一番影響を受けるものと考えております。
0:04:56	ただちょっと厳密に言いますと、このさっきP u b 2ページのところメイク方向についてなんです、鉛直方向の指示、
0:05:06	一番応答が大きくなる場所っていうのは、屋根、受けにくい部分が大きくなって、例えば本体はそれほど大きくなりません。どちらかという、建物反対が大きくなるのは理事っていうところがあったりします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:23	はい。で、ということで、これが建物って引っ越し費用に対して、もう少し短い、1、
0:05:37	あるということで、ちょっとそういうところもあるんですが、ちょっとそこまで書くと、ちょっとぐちゃぐちゃになってしまうのでこちらでその一番大きくなるところの、こちらを示しております。
0:05:51	阿久津武智でございます。追加で補足いたしますが、建物の保有周期1時から数字までありますけれども、一番影響が大きいとおっしゃる通り1として、
0:06:05	新しい強度は、工数の1でまたすぐ1というふうに影響が減っていきますので、一次固有周期が大方の応答を決めるということで間違いのないということでご理解いただければと思います。以上です。
0:06:21	ちょっとすみませんありがとうございますわかりました。
0:06:31	えーと、
0:06:32	それでは9番の4ページ以降ですね床を取り進めたところをご説明いたします。
0:06:45	はい。次サイクル燃料貯蔵東京事務所蒔田よりご説明させていただきます。
0:06:50	まず本日の資料の8分の3ページ、こちらからですね、設計用床応答曲線の比較というところで載せております。
0:07:00	こちらは、まず初めの3ページは基準地震動S _s による設計用床応答曲線、具体年層厚ですね、こちらの建設工認等本変更申請の比較と、
0:07:13	いうところで黒字、Eで線を引いているものが、もともと接液設工認で今回赤字で本変更申請ということで書かせていただいております。
0:07:26	そして赤字の部分がですね、黒瀬にかかっていない部分が、今回追加したS B5のによる影響で設計を以下大戸学生が変更になった部分になります。
0:07:40	ただですね左側これがキャスクのエレベーションと減衰定数を使ったものになるんですけども、キャスクの固有周期は0.08。
0:07:51	で、でして、そのときの進度を1.13となっておるんですけどもその部分についてはですね、SSBの影響がないということでこちらは変更なしとなっております。
0:08:04	続いて8分の4ページをご覧ください。
0:08:10	こちらは同じく基準地震動S _s なんですけれどもEW方向の比較になります。こちらはこちらの通りですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:21	キャスクのこういう周期の部分には設備分の影響はないということになっております。
0:08:29	続いて8分の5ページ目です。
0:08:33	こちらは、鉛直方向ですね、基準地震動S sの鉛直方向の設計を、床応答曲線の比較になります。こちらはですね中高校は冬、こういう周期がかなり小さくて剛構造というところになってますので、
0:08:49	実際の設計としてはですね、1.2Z P Aの値を用いていますので、こちらでもですね、今回S s - D本の追加による影響がないという部分になります。
0:09:02	続いて8分の6ページです。
0:09:06	これが雑設計用地震動S Dによる床応答曲線の永年倉庫の比較になります。まず、左側金属キャスク及び貯蔵架台の方ですけれども、
0:09:18	こちらキャスクBくらいのこういう周期体では、設計床応答曲線の違いはありません。また天井クレーンの方もですね、方向としては、戸越液位が、
0:09:31	小さい方向ですので、こちらも同様に影響がありません。
0:09:36	続いて8分の7ページです。こちら、弾性設計を地震動S DのE W方向をですけれども、キャスクについては同様に固有周期のところに変更はありません。
0:09:50	展張クレーンの方はですね、方向で代表してますのでこちらも同様になります。
0:09:57	最後ですけれども8分の8ページになります。炭素偏析地震動S Dによる設計上田岡線、これ鉛直方向の比較になります。
0:10:09	まず金属キャスク貯蔵架台の方ですけれども、こちらも固有周期小さい値ですので、英語構造ということで1.2Z P Aの評価をしております。
0:10:21	と天井クレーンの方を細かく書いていてちょっと見づらくなっているんですけれども、前回と今回で
0:10:31	川田の中央部にある、トロリがある場合と、形をごめんなさい、吊りから空の2の時と、写っている時それぞれでこういう収益が、
0:10:44	S s - D後の影響です。少し大きくなっています。それはこの部分は設計の中で考慮して再評価を行っております。
0:11:00	ですので本今回の設計を床応答曲線によって、今回の評価が変わるという部分については、最後にご説明と8分の8ページの天井クレーンの部分になります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:12	それぞれ弾性設計を地震動 S D による評価の部分で、鉛直方向についての影響というところは出てきていますので、
0:11:22	設計及びカトウ曲線としてはこのような影響ですけれども、評価としましては、弾性設計用地震動 S D、
0:11:32	の鉛直方向の評価という部分が、 S S B の追加によって変わっているという状況になっております。ご説明は以上です。
0:12:05	あ、
0:12:06	うん。
0:12:21	あ、じゃ、
0:12:23	規制庁のタナカです。じゃ、
0:12:25	続いて、この
0:12:31	個別資料でこれ説明と言われたものについてお願いいたします。
0:12:39	すいませんちょっと今音声聞き取れませんでしたあれですがもう一度お願いいたします。これは地域委員会で断線範囲収まっているということに関して、建屋他の
0:12:51	で定例施設はキャップはそういう等についてそこは、今回どのように境界についてのご説明をお願いいたします。
0:13:01	はい。リサイクル燃料貯蔵の寺山です。それではちょっとまず、建屋の評価結果につきまして、ご説明させていただきます。
0:13:10	えっとですね、ちょっとご説明に当たりましては、当間補足説明資料と、ちょっと一部、最初に頭で全体の概要をお知らせするためにちょっと審査会合資料でも、ちょっとここでちょっと最初概要をお知らせしたと。
0:13:26	ちょっと補足説明指導、ここにはちょっと比較表の方が出ておりますが、ちょっとそちらでお話できればと考えております。
0:13:34	はい。それではちょっと今日のまず審査会合資料、
0:13:39	審査会合での予定してる資料の全体 16、 P D F でいきますと 16。
0:13:47	-5 ページ、下の 23 ページでいきますと 4 ページ、 5 ページ、 4 ページと 5 ページになりますが、まず 4 ページのところになります。
0:13:57	はい。こちらにちょっと建物の状況の概要をご説明、示しております。
0:14:03	ちょっとまず建物の応答がどうなったか評価結果がどうなるかと、いうことをこの 4 ページ、 5 ページで示しておりますが、まず、ちょっと建物の応答がちょっと、実際今回の S S B 5、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:15	の追加によって、基準地震動が変更になってどう変わったかということをごちらでまずご説明しております。
0:14:23	実際ちょっとどのように、応答が大きくなった場所がどこかということがこの図の色で塗ったところを示しております、示しております。これを見ていただくように、右側の鉛直方向の
0:14:36	各失点の応答が大きくなっているところ、この一番から6番の応答が大きくなっているところになっております。その間の鉛直震度も大きくなっているところになっております。
0:14:49	一方で、水平方向については、既存
0:14:56	そうですね。大戸が水平震度英語以外のものでってことで、
0:15:03	水平方向は、変更 S s - D 法による応答が最大とならなくて、
0:15:12	加速度とか経費振動とかには変更がなかったということになります。
0:15:17	はい。これ連続方向になっております。
0:15:22	続きましてその応答結果に基づきまして各部、主要な部分の評価結果を示したものが5ページの方の絵に示しております、次のページ、
0:15:33	2が示しております。
0:15:35	主要なところというところで、まず耐専駅についてなんですけど、耐震駅については、せん断ひずみの最大が 0.2323×10 のマイナス3乗ということで既設の工認から変更がないという、
0:15:50	状況に、状況で、教育委員会で十分下回ってるというところは変わらないということを確認しております。で、同じく、
0:16:00	基礎スラブに代表するところで、基礎スラブに関しても、その中の応力がわずかに変更となると、代表的なところでモーメントが7531から7533 k N、
0:16:13	もうメーター雨メーターっていうところで変わるということで、わずかに変わる程度で、評価結果が満足することに変更がないと。
0:16:23	同じく杭も、応力がわずかに変更となるというところで、代表的なところで最大軸力が9454から9484に変わる程度であったということです。
0:16:33	変わらんその程度しか変わらないということで、評価計画を満足しているところ。
0:16:38	あと地盤の液状化につきましても、S B 5による一部液状化判定が最も厳しくなるというところへ、
0:16:46	厳しくなる基準地震動ということにはならなくて、議事録の可能性がないという評価結果に変更はないということを確認しております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:56	こちらが内容になりまして、ちょっとそれを詳細を示しているところが、
0:17:05	補足説明資料の方でご説明。
0:17:14	節3方001の使用済み燃料と伊達の耐震性という補足説明資料、こちらの方でご説明しております。
0:17:22	こちら、
0:17:24	最初の目次が来まして、最初の1ページから2ページにかけてが、その変更点の概要をちょっと文書で示しているところになりまして、その
0:17:36	1、
0:17:37	そうですね。あと1、3ページはですね、1ページから3ページまでが概要で示してるところになっております。
0:17:44	あと4ページ以降が、その建物関係の申請書の添付の内容を比較表で示していることになります。
0:17:52	でもこちらの補足説明資料で添付しているものにつきましては、建物関係ということで、まず入力になります。S s - Dの策定概要というものを別紙1でつけてるという、
0:18:04	別紙2としまして、地盤のシミズに係る基本方針について、
0:18:09	添付している、別紙3としまして、都度館野耐震性に関する計算書について、比較表でお示ししております。
0:18:19	それでまず変更点につきましてですが、別紙で1で示している、S s及びDの各策定概要についてなんですが、こちらの記載ですね、ページ数はいっぱいあるのですが、こちらでございます。
0:18:35	よろしいでしょうか変更点というよりも冒頭申し上げましたように、もう、各設備が弾性範囲にとどまっているかどうかのそのピンポイントで、
0:18:46	いうところをご説明いただけますか。
0:18:50	はい、承知いたしました。はい。
0:18:54	それではスライド収まっているところということになりまして貯蔵建屋の結果ということで、こちらの補足説明資料でいきますと、別紙の3というところになります。
0:19:07	7-3の伊達の耐震性に関する計算書の比較表の方でご説明させていただきます。
0:19:17	ページでちょっとお待ちください。
0:19:27	ページでいきますと、110、PDFのページでいきますと119ページ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:34	からになります。
0:19:38	あ、あそうだ。
0:19:42	すいません、これ、すいませんこの 119 ページから、耐震性に関する計算書になるんですが、
0:19:50	こちらの最初の方はモデルとか、静的振動に関する記載になりましてそのところは全く変更ございませんので、
0:20:00	そちらが一応金城までありますがそこがまた変更ございます。
0:20:05	今回変更があったところは、8 章の基準地震動 S_s に関する機能保持検討、キュウシヨの水平 2 方向に関する検討と。
0:20:17	別紙のところにつけてる液状化に関する検討のところのみになります。
0:20:22	で、そこのところで、変更があった、ある場所につきましては、の代表的なところなのですが、まず、先ほどちょっと最初に概要でお伝えしたように、
0:20:36	まず、
0:20:38	進藤として変わったところですが、PDF でいきますと 215 ページ、右下のページでいきますと 213 ページになります。
0:20:51	はい。こちらがまず、検討人力についての比較表になります。こちらが実際、建物の検討で使ってる地震力なのですが、こちらで、
0:21:02	ここで変わったところにつきましては、こちらの表の中でいきますと表の 8.3、3 の検討用鉛直地震力というところが、
0:21:13	変わったところになりまして、
0:21:16	一番変わったところで見ますと鉛直震度基礎のところ、0、左側、16、TP16.3 のところで 0.606 だったのが、
0:21:26	0.623 という値に変わったりしたというところぐらいところで、これで大体 3% ぐらいなんですけどその程度で市しか買わないということになります。
0:21:38	ということでこちらの鉛直のところが変わっただけで、その他、上の方にあります紙幣の値とかは変わってありません。
0:21:46	支店長ハバサキですね、この件規制庁ハバサキですみません、今映ってる表の一番下、屋根の鉄骨部の鉛直震度の数値ですね。
0:21:57	今回の大きいの出どころこの前の方に応答結果が出てるんでわかると思うんですけども、
0:22:05	この場合の応答結果のどの位置の値っていうのはわかりますか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:14	はい。リサイクル燃料貯蔵の寺山です。えっとですね、その前のところに、各
0:22:22	部ですね、
0:22:27	もっと応答解析結果が出ているのですがすいませんちょっとそのまま、そのすぐそのものでは出ておりませんので、ちょっと
0:22:36	気規制庁ハバサキですえっとですね、多分これ、地盤のばらつきを考慮したケースを含んで、すべてのケースの最大値になってると思ってて、
0:22:52	お手元の資料ですと 99 ページなんですけれども
0:22:55	城高校の加速度分布±アンシグマの基本ケースの比較のところの下、結果の最大値の値が出てるんですけれども、
0:23:08	その辺りとの対応がちょっととれてないかなと思ったんでお聞きしたんですけれども。
0:23:15	はい。リサイクルのちょうどテラヤマです。まず、屋根の鉄骨部については変更は、既設工認と変更はありません。
0:23:26	それで屋根の鉄骨ルーについてなのですが、まず基本ケースとしましては、右下の 200 ページになりますが、
0:23:42	こちら 200 ページが、
0:23:45	ごめんなさいこれちょっと最大曲げモーメントですけど、
0:23:50	と、
0:23:52	屋根の部分の応答になってて、
0:23:56	えっとですね。
0:23:58	同じく、
0:24:02	麻生。
0:24:06	すいません、100 その前の 198 ページ。
0:24:11	198 ページになりますが、こちらが最大応答加速度、基本ケースの最大加速度の谷部になります。
0:24:21	画面、はい。で、こちらの上の、
0:24:26	画面でいきますと一番上のそちらの、今真ん中でお示ししているところが取り上げ、鉛直方向で、屋根部の応答になっておりまして、
0:24:36	こちらがまず上三つ、
0:24:43	ちょっと小さくて見にくいかもしれませんが、1396272770 っていうところは変わっておりません。
0:24:51	一番左端の 586 っていうところが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:56	一番最大でなくて 605 っていうのが最大にはなってるんですが、こちらは屋根、屋根部ではなくて一番やると、は柱の取り合いの部分のところでありますので始まる部分ということで、今回応力が大きくなってるところで、
0:25:11	それが今回の壁柱部の鉛直震度が変わっているところと対応してるかと考えております。
0:25:18	既設ハバサキです今これ、映されているのは基本ケースの話で、先ほどご説明をされてた検討用鉛直地震力の表ですよ。
0:25:31	ここ出てくるのはばらつきの考慮した最大の値が出てくると思ってますけれども、今大内されてるのは基本ケースですよ。
0:25:41	はい。
0:25:43	ですからばらつきの採用した、鉛直の最大加速度のグラフがあって、その数字と検討用鉛直地震力の数値の対応を説明してもらいたいですけれども。
0:25:58	はい。で、今、はい、タイプの燃料貯蔵の寺山です。
0:26:03	今お伝えしたところが基本ケースということになりまして、私、そのばらつきを考慮したケースのものが、
0:26:13	右下で 209 ページ、PDF でいきますと 211 ページになります。
0:26:22	こちらがこののばらつきを考慮したケースというところになっておりまして、こちらも上の方のグラフが、
0:26:32	上の方のグラフで、
0:26:36	これありますが、右側三つが屋根部分で、一番左が一つが、その屋根部分の一番端部ということで柱部、壁は、
0:26:46	壁部分最長部というところになっておりまして、その壁、部分の開口部につきましては、こちら変更となっておりますけど、屋根部分のところについては、変更がないということで、
0:27:00	先ほどの検討時新保力の屋根鉄骨部変更がないということと対応していると考えております。変更の内容はこちらで確認 (レコーダーの電池交換により録音を一時停止)
0:00:09	はい、浜崎です水源に関しては、地震力でしかはないけれども今回 S s
0:00:17	B5 が入ったことによって鉛直の応答若干差異が出ると。その結果として、基礎スラブ検討用能面等、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:00:28	軸力に関して変わらないんですけども、モーメントに関しては若干、この鉛直の影響を受けて変わったと、いうふうに理解しました。そういう理解でよろしいですか。
0:00:41	リサイクル燃料貯蔵の寺山です。そのご理解で結構です。
0:00:45	はい規制庁浜崎です。はいわかりました。以上です。
0:01:00	それから現状ちょっと記述より金属キャスク貯蔵架台の評価結果についてご説明させていただきます。補足説明資料、節3方003金属キャスク及び貯蔵外来の耐震性と、
0:01:16	いう資料をご確認ください。
0:01:21	まず、2ページ目PDF、4ページ目ですけれども、今回、
0:01:28	変更になった部分。
0:01:30	としては、鉛直方向の弾性設計を地震。
0:01:34	SDによる評価が変わっております。当該の設計振動をですけれども、これは鉛直、こちらの(2)と(3)書いてありますけれども、
0:01:48	まず(2)の建屋の最大応答に対して20%割り増ししたものを、こちらと静的地震力これを比べまして、大きいほう押せ設計震度として評価をしております。
0:02:04	その結果その下に第1表として書いておりますけれども、鉛直方向が少し設計震度が上がっているというものになります。
0:02:14	金属キャスクと貯蔵が大学が行ったものですので、どちらの評価でも、この部分が少し大きくなっているというところになります。
0:02:24	続いて、実際の結果をお伝えしません。
0:02:30	右下のページで、
0:02:35	と、
0:02:39	44ページPDFは46、51分の46ページにした44ページになりますけれども、
0:02:47	こっからですね、戸澤先生今日地震動SDの評価ということで今日上程CFFの値を記載をしております。
0:02:56	後の20秒から、コンクリート部の評価までの21までですね。
0:03:06	こちらの部分を確認いただくとすべて値として許容応力を十分に満足をしていると、いうことになりますので次、
0:03:17	この
0:03:20	貯蔵がライトして、概ね弾性範囲に収まっているということが言えます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:03:26	すいませんちょっとごめんなさい 1 点先に貯蔵架台の方からご説明してしまっただけでも金属キャスクも同様になっております。ページとしましては、
0:03:36	P D Fしたのは P D F と言うと 51 分の 24 ページから、
0:03:42	ページ下番号 22 ページですね、こちらから先ほどの貯蔵架台の表、評価結果と同じように結果をまとめた表を記載しております。
0:03:51	こちらも同様にですね協力に対して十分な誘導があるということで、この 5 分の 25-26 強から、
0:04:03	5-28 をの中でですね、協力を十分に満足をしているということを確認しておりますので、金属キャスクとしても概ね弾性範囲と。
0:04:15	ということがあり得ると言うことが上がっております。ご説明は以上です。
0:04:23	はい。吉川ですねアルファの本社タカハシの方から、残りの設備ですね、天井クレーンと受け入れ区域の天井クレーン等搬送体制についてご説明いたします。
0:04:33	資料につきましては節 3 方の 004 番、
0:04:38	こちらでまず、受け入れ区域天井クレーンの体制について、結果、評価結果に絞ってご説明させていただきたいと思います。資料のですね、P D F と言いますと 13 分の 12 ページ。
0:04:51	右下 10 ページになりますが、P D F と言うと 13 分の 12 ページですね。
0:04:55	こちらの下段の方に、9 ポツ 2 として応力、左側が認可済みの認可いただきました設工認、右側が今回申請でございまして、赤い文字のところ、3 ヶ所ございます。参照力ですね。
0:05:08	クレーン金タイガーの中央部の曲げ応力の結果を見ていただいて、左側が 89 で今回 91 ということで少し変わっています。
0:05:19	残り 2 ヶ所につきましては下の方を例の下ですね、こちら、曲げと組み合わせ、こちらが若干変わると。ただ、協力に対してそれぞれ
0:05:31	問題ないということで判定をしようということで、表の下段にあります通り 3 層力は協力を下回っており B クラスの設計地震力に対し、している設計であるということで結論は変わってございません。
0:05:44	また S s の評価につきましては変化ないということで最終ページのところで、機器、設置工認等変更がないというご説明をさせていただいております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:53	最後、搬送体制について、施設3オノ005の資料ですね。
0:06:01	こちらに、同じ評価結果に事ちょっとまずご説明させていただきます。
0:06:06	同じようにですね最後から2ページ目になりまして、PDFの12分の11ページ。
0:06:12	こちらに、6ポツ3として評価結果と結論として書いておりまして、搬送体制につきまして、
0:06:22	下段ですね、
0:06:24	マーケットを組み合わせのところで来2月分の設工認は左側、今回が右側ということで、赤い文字のところ若干変わっておりますが、許容応力に対して十分留意があること自体が変わって、
0:06:37	変わってなくて、ずっとこちらには表の上のところに結論書いておりますけども、
0:06:44	計算上口は、強力値を下回っておりまして、Bクラスの設計地震力に対して耐える設計であるという結論に変化はございませんで、搬送台車のSsについては応力評価というよりも
0:06:56	検討評価の方をさせていただいております、こちら最終ページ載せてるんですけども、
0:07:03	非公認ですから、だから内容について変化がないと、変更ではありませんという説明を入れさせておいております。はい。簡単でございますが、ご説明以上です。これにてですね、各設備の
0:07:17	今回の耐震評価において、概ね弾性範囲を超えてないことの説明は以上です。終了いたします。
0:07:41	ありがとうございます規制庁野崎です。今の説明で理解できました。1点確認なんですが今のご説明で、
0:07:53	基本許容応力を比較して、計算値がそれ以下であるから概ね弾性であるというご説明だったんですが、
0:08:03	今の御説明のその許容
0:08:06	許容限界っていうところが、基本台帳0点以下だっているというそういう理解でよろしいんですか。
0:08:15	全、全体の設備を通して、
0:08:19	よってって弾性範囲にとどまっておりますという、
0:08:24	説明等とらえたんですが、それで正しいのでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:30	リサイクル燃料貯蔵の寺山です。まず狂言会が全部協力クドウというわけではありません。集客のところの限界を使っているものもございません。
0:08:41	ただえーとですね実際のちょっと耐震駅とかについてなのですが、こちらにつきましては、その協力に対して、ちょっと十分余裕があるっていうところが、
0:08:54	許可の時に今回の評価の時でもありまして、そういうところに対して、その評価結果に対してもう十分に余裕があるところもちょっとお示しするところで、ちょっと前回評価の
0:09:06	ヒアリングとかの中でちょっとそういう話がありましたんで、そういうように実際に概ね弾性におさまってるようなところは、評価結果云々ではなく、概ね弾性という形でお示ししてるところがあります。
0:09:20	はい。以上になります。
0:09:27	若干補足いたしますと淡路武でございます。今ご指摘いただいたように、実際に許される許容限界というのは終局状態からされるんですけども、
0:09:39	実態として生じてる応力は折れ点以下であって、建物に実際に生じてるひずみ応力ってのは、建物自体の実力のうち弾性以内に収まってる。
0:09:51	いうご説明でございました。以上でございます。
0:09:59	社長は田崎ですけども今こちらから説明を求めた趣旨なんですけれども、どちらかという建物に関してはもうすでにそういう理解があるんですけども、
0:10:09	例えばキャスクであったり、貯蔵架台であったり、その設備系に関してはどうですかという、こちらからの通りなんですけどもいかがでしょうか。
0:10:23	はい、伊勢君燃料貯蔵、木内です。今回評価として変わった部分ですけども、金属キャスクもですね、貯蔵架台あと他質問ですけども、
0:10:36	それぞれ弾性設計地震動S Dつまり今日状態については、C Sの方で評価をさせているものになります。ですのすべての評価結果が、
0:10:47	弾性範囲内に収まっていると、いうことを確認しておりません。
0:10:52	許容限界が弾性を前提とした許容限界を使ってるってことですね。
0:10:56	はい、麻生です補足ありがとうございます。横瀬。はい。規制庁の田口ですけど。
0:11:02	もう少し言いますと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:06	次実用炉の許可基準の中では、
0:11:12	きっかけについては、全体的に概ね弾性状態っていうのは、
0:11:16	あって、
0:11:18	もう一つは技術基準法でいくと、
0:11:22	逆に求められる協議会っていうのは必ずしも、
0:11:26	礎石等も認めていくか。
0:11:30	つまり、
0:11:31	その上で、もう一度この実用の評価基準を見ると、SDで、
0:11:39	弾性的に概ね弾性状態にとどまると。
0:11:43	続いてそちらからの意見をお聞きしたい。
0:11:47	そういうところなんですね。
0:11:50	例えば一次応力の、
0:11:53	基準。
0:11:54	能力があります。
0:11:56	それについ、
0:11:57	比べて、ちっちゃいのか。
0:12:00	礎石まで。
0:12:02	含めて、組み合わせ、
0:12:05	の
0:12:08	組み合わせ応力に対しての荷重というのが、
0:12:13	一次応力よりも、もう評価もちっちゃいのか。
0:12:18	ちょっとその、
0:12:21	正確に
0:12:23	説明をいただいた方がいいんじゃないかなと思ってちょっとします。はい。
0:12:28	以上です。
0:12:45	リサイクル燃料貯蔵、脇です。CSの方の用地はですね、材料の方のこ こん芋を英語基準としておりますので、
0:12:58	先ほどご説明いただいた通りですね例えば供用状態列で基準地震動Ss の地震動に対する評価というところではですね一部交付を超えること を、
0:13:11	認めてる部分もあるんですけども、今回対象となっている部分範囲で すねそちらに関してはですね、それで弾性範囲ということを、
0:13:23	と言えます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:25	でござい繰り返しますけれども、今回変更点はすべて弾性域ということでの結果として出ているということになります。
0:13:36	以上です。
0:13:57	規制庁の梶田ありがとうございました。今日お伺いしたいことは、とりあえずこちら側は、お伺いできました。ちょっと直前に
0:14:08	追加の資料等、説明資料としていただいてええと、こちらちょっと若干その資料を精査する時間がなかったので、審査会合資料全体についてはですねちょっとまだ我々も十分精査ができていない状況です。
0:14:24	つきましては今のご説明を踏まえてこちらの中でもう一度審査会合資料についてですね、何かお気づきがあれば改めて、
0:14:37	御説明なりコメントしたいと思いますので早ければ明日の
0:14:43	どっか夕方までのところで短時間でもできればと考えてますが、いかがでしょうか。
0:14:53	稲村委員長のです。はい藤。
0:14:56	また明日、移行を再度ヒアリングいただくということで周知いたしまして、もし何も特段、やっぱりその精査しなければもう改めてはないんですがもしやった場合は、明日ちょっとどっかでやる可能性がありますので、その場合はまた改めてご連絡いたします。
0:15:17	はい。承知いたしました等でちょっと当方から修正がございましたのでちょっと報告させていただきます。
0:15:27	7 ページです。
0:15:34	貯蔵架台のですね一番下の表ですねこのページはキャスクと貯蔵架台の評価結果が変わった点の中から主な点を今ご説明したところが主な点を引っ張ってきてますが、
0:15:46	一番下のですね貯蔵が来客分の施設工認のあったこちらですねちょっと既設工認の中でですねこの 23 と記載している部分と 30 と記載してる部分がございます。
0:15:59	正しくは 30 の方ですので、これ評価値としては施設購入も 30 それから本変更申請も 30 ということになりますので、変更なしということ、になりますのでここからは削除させていただきたいと思います。
0:16:14	一方ですねちょっと移設工事のあたりの一部が間違っていたということで誤記となりますので、
0:16:20	後ろの方の 11 ページの方に昨日説明も起きておりますが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:27	こちらの方にですねこっちとしてもう1ヶ所ありますのでその点をちょっと追加させていただこうかなということで考えております。
0:16:38	私から以上でございます。
0:16:47	はい、規制庁の土岐ですありがとうございます。
0:16:51	では、特段何もなければ、それで終わりたいと思います。ていうか、
0:16:56	タカハシと申しますが1点よろしかったでしょうか。はい。
0:17:01	ありがとうございます。本日ですね最初にお聞きいただいた、ご説明させていただいた参考資料としてお出しした、
0:17:11	もし、はい、はい、どうぞ。
0:17:14	松原タカハシさん、聞こえます。
0:17:18	はい。本日ですね最初に、今画面に映ってる本日最初に説明させていただきましたこの
0:17:25	床応答ですとかと、広域の説明してですね、こちらにつきましては、参考資料として今日はおまとめさせていただいておりますが、これを、もう審査会合資料2、
0:17:38	後に、結合させるというか、参考資料として一式入れておくと。
0:17:43	いう所よ。
0:17:45	させていただいてよろしかったでしょうか。
0:17:49	規制庁野崎です多分その方向になると思うんですがうちの中でもちょっとそれを参考資料とすると、やっぱりもっと前に寄ってくるのかと。
0:18:00	そのあたりもう少し我々でもちょっと検討する時間をいただけますでしょうか。
0:18:07	ありがとうございます承知いたしました。以上です。確認は以上です。ムタ本社側特に他にございません。ありがとうございます。以上です。
0:18:18	あれストップ事務所のです。東京側も特にございません。
0:18:26	では、特になければこれで終わります。どうもありがとうございました。ありがとう。
0:18:30	ありがとうございました。ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。